

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.130

携帯電話買取詐欺にご注意!

【事例】「ブラックリスト記載者でも融資OK」の業者に融資を申し込んだ。「携帯電話を契約すれば信用が回復する。通話料はこちらで支払う」「審査は通らないが携帯電話を買取る」と言われてスマートフォンとタブレット端末を計4台契約し、指定住所に送った。後日、入金・融資があるはずなのに、業者とも連絡がとれない。

通話ができる携帯電話を無断で売買することは法律で禁止されています。また、振込め詐欺等に使用された場合は、あなた自身が詐欺を働いたこととなります。自分は被害者だと思って警察に相談すると、加害者の方だと指摘されます。

ほかに、ヤミ金業者にだまし取られた携帯端末代金、通信料、契約解除料金は契約した本人が支払うこととなります。携帯料金を滞納すると信用情報に記録されるので、以後の新規携帯電話契約ができなくなります。業者の誘い文句にだまされず、契約する前に消費生活センターへご相談ください。

おもてなしコラム 4

西脇市では、平成28年1月に「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を施行。地域食材の魅力について認識を深め、その魅力を広く発信し、本市にさらなるにぎわいの創出を目指しています。

■問合せ 農林振興課(市役所内線323)



tamaki niime 阿江美世子さん

tamaki niime のおもてなし

“Hi. How are you? Where are you from?”

「今日はどちらからお越しくくださったのですか?」

この一言から会話に花が咲く店内は、遠方や海外からもご来店くださる方がいらっしやいます。

tamaki niime の作品は、長年播州織に携わる職人さんの知恵や技術、新たなものを創り出していく感性、一つひとつ手をかけ仕上げられるため、ほぼすべてが一点ものです。

自分自身がほれ込む作品を、お客さまとの会話を楽しみながら、その方に合う作品と一緒に探し、また、作品の背景に興味を持ってくださる方には、工房のご案内や播州織についての説明等、tamaki niime のものづくり・作品が西脇市だからこそできる魅力を伝えています。

作品に対して満足いただくことはもちろんのこと、この空間や時間も存分に楽しんでいただきたいという思いで日々お客様をお迎えています。何度でも訪れたいくなる「旅の目的地」となるよう、今後も、人々を魅了するものづくりとtamaki niime 作品を世界中に伝えていきます。



▲西脇市旧図書館で開催した経過報告会の様子

①トイレの洋式化工事
市内9小中学校でトイレの洋式化工事を行い、衛生面、省エネ対策等の環境整備を実施しました。
②太陽光発電設備設置工事
桜丘小学校および黒田庄中学校を除いた市内7小中学校に太陽光発電設備を設置しました(双葉小学校と西脇南中学校は建替時に設置)。
太陽光発電はCO₂を削減し、余剰電力を電力会社へ売電することで経費削減を実現します。また、災害時の非常用電源としても活用できます。
③非構造部材耐震化工事
すべての体育館や武道場を対象となる天井、照明器具、バスケットゴール等の非構造部材について耐震化工事を行いました。

平成27年度環境整備について
平成28年度環境整備について
西脇小学校の改修基本計画・基本設計に係る経過報告会を5月15日に開催しました。幼稚園は、平成29年度からの一園化に向けて、重春幼稚園の耐震化工事等を行います。
その他の学校施設の耐震化および環境整備について
今年度は、残りの2小中学校に太陽光発電設備の設置工事を行うほか、西脇中学校体育館の大規模改修工事に向けた設計を行います。
また、学校のICT環境を整備します。校務処理・教材配信を県内初のクラウド化とするなど、学力向上に向けた教育環境の整備を進めます。
■問合せ 教育総務課(市役所内線532)

教育環境の整備を進めています

市では、子どもたちが安心して学習できるよう教育環境の整備を進めています。これまでに校舎の耐震化を進めた結果、平成26年度末に木造校舎を除く小中学校校舎の耐震化率は100%となりました。平成27年度には、トイレの洋式化工事、太陽光発電設備設置工事、非構造部材耐震化工事を行い、教育環境を整備しました。

心のスケッチ

89

人権教育室コラム

にしわきっ子じんけん教室の活動を通して

子どもたちに人権をより身近に感じてもらうとうと、「にしわきっ子じんけん教室」を開催しています。この事業は、市内の小中学生が自分の住む地域でのさまざまな体験活動や地域の方々との交流を通して、身近な人権課題に気付いたり、ふるさとへの「愛着」「誇り」を育てたりすることを目的としています。
昨年度は、延べ520人の皆さんに参加いただき、それぞれの活動が充実したものでなりました。その中で、昨年の10月に比延小学校体育館で開催した「盲導犬講演会」の活動を紹介したいと思います。
児童・保護者約50名に参加いただき、全26プログラムの中でも、大きな反響がありました。兵庫盲導犬協会から講師と盲導犬の普及活動を行う訓練犬が来場し、訓練の実演や盲導犬の啓発DVDを鑑賞しました。参加者の皆さんが生き生きとした笑顔で、講師の方のお話や訓練風景を見られている姿がとても印象に残っています。
「人権」という言葉は一見難しくとらえてしまいがちですが、子どもたちが人権をより身近なこととして考えるためには、「楽しく学べる」ことが大切だと思います。
「にしわきっ子じんけん教室」では、高齢者の方や地域の方との触れ合い、外国籍の方や障害のある方との交流、自然体験、料理教室等、さまざまな活動の中で楽しく「人権」の勉強をしてもらう場になればと考えています。
今年度は6月から来年2月まで季節に応じたさまざまな活動を計画していますので、積極的な参加をお待ちしています。そして、参加者の皆さんが人権を身近なこととして感じることをできるよう推進していきます。(人権教育室)



▲盲導犬講演会に来場した訓練犬

市長からの手紙

西脇を元気に!!

30



西脇市長 片山象二

まちの将来を考えて…「変わるリスク」と「変わらないリスク」

6月議会に西脇市役所の位置を現在の「郷瀬町」から、「下戸田のカナート西脇跡」に移そうとする追加議案および補正予算案を上げしました。

戦前「西脇町役場」は西脇小学校の北西にあり、その後、童子山(図書館跡)に移動、約50年前に郷瀬町(現在地)と変遷してきました。

今、日本は人口減少時代の真っただ中にあり、西脇市も25年後には約3万3千人弱(22%減)、45年後には約2万5千人弱(40%減)にまで減るとの推計があります。

「新しい西脇市を創る」には、庁舎の建物寿命が50年、60年とすると、「今のままの位置」変わらないか「新たな位置」変わるかを選択する上で、「都市機能の集約」「公共交通網の整備」等、今後の

まちづくりにおいて欠かせない視点から「変わるリスク」を取るべきだと考えました。

6月15日には、公共施設適正化検討委員会(大学教授や市民団体代表、公募市民など12名で構成)から庁舎の建設位置等の中間答申をいただきました。真剣な議論から導き出された結論(市役所・市民会館をともに「カナート跡地」にて新築)やご意見を十分参考にし、将来世代に引き継いでいけるよう努めてまいります。

一方で、「西脇市公共施設等総合管理計画」を策定しました。「今後30年で公共施設(延床面積)40%縮減(内20%は既存計画で織り込み済)」を目標に将来世代へ過大な負担を残さないように進めていきます。

このまちに住んでいることを誇れる「西脇市」をともに創っていきましょう。